



今やそれを観ること自体が観光の目的にもなっている「世界遺産」。ユネスコ総会で「世界遺産条約」が採択されたのは1972年ですが、日本の参加は意外と遅く1992年。125番目の締約国となりました。

締約国となった翌1993年に、日本初の世界遺産として姫路城とともに登録されたのが「法隆寺地域の仏教建造物」です。この微妙な言い回しから「法隆寺」だけではないことがうかがえます。では、他にどんな仏教建造物があるのか皆さんご存知ですか？

答えは「法起寺」。聖徳太子が法華経を講義したと言われている「岡本宮」を、息子である山背大兄王が寺に改めたとされています。「岡本寺」「岡本尼寺」「池後寺」「池後尼寺」との別名もあるので、いずれかの名前で耳にした方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

一番の見所は708年に建てられた日本最古の三重塔で、幾度となく修理はされているものの、創建当時の姿が残されています。その伽藍配置は、塔を東、金堂を西に配したもので、法輪寺などとは位置が逆転した「法起寺式」と呼ばれています。奈良時代にはかなり繁栄していたようですが、平安時代からは法隆寺の指揮下に入っています。ちなみに、現在、その管理を行っているのも法隆寺です。門前にはコスモス畑が広がり、秋には三重塔とのコントラストが絵心をくすぐります。

世界最古の木造建築として知られる法隆寺は、607年の創建。大きく西院と東院に分かれる約18万7,000㎡の広い境内には、多くの建造物が軒を連ねています。松並木の参道から入っていくと、まず、威風堂々とした国宝・南大門が出

## ニッポンの世界遺産

vol. 1

### 「法隆寺地域の仏教建造物」 のどかな田園風景にたたずむ 世界最古の木造建築

迎えてくれます。多くの宝物類が伝えられており、その数は国宝・重要文化財に指定されたものだけでも2300余点に達します。

斑鳩町には法起寺や法隆寺に加え、中宮寺、法輪寺など聖徳太子ゆかりの著名な寺が点在している一方、周辺はのどかな田園風景が広がっています。また、春には水仙や枝垂れ桜、秋には真っ赤な彼岸花や風にそそぐススキの穂といった具合に、季節の草花に彩られ、訪れる人の目を楽しませてくれます。

現地での観光情報の入手には斑鳩町観光協会が運営する「法隆寺iセンター」が便利。年中無休8:30~18:00の開館で、レンタサイクルもありますよ。



#### 法起寺

【アクセス】JR関西本線法隆寺駅よりバス「法隆寺門前」行き「法起寺前」下車  
【拝観時間】8:30~17:00(2/22~11/3) 8:30~16:30(11/4~2/21)  
【拝観料金】一般300円、小学生200円

#### 法隆寺

【アクセス】JR関西本線法隆寺駅よりバス「法隆寺門前」行き「法隆寺門前」下車  
【拝観時間】8:00~17:00(2/22~11/3) 8:00~16:30(11/4~2/21)  
【拝観料金】一般1,000円／小学生500円

参考：「社団法人 日本ユネスコ協会連盟」「法起寺」「法隆寺」「法隆寺iセンター」の各ホームページ